

この紙のゴール: 「全部が～ではない」と言い、いちばん言いたいことを前に出して伝えられる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

Not all sports are hard for me. I like swimming very much.

スポーツが全部苦手なわけじゃない。水泳はとても好きだ。

It was my brother that taught me how to swim.

泳ぎ方を教えてくれたのは兄だった。

型で書く 型で書く— _____ だけ自分のことばに 思考・判断・表現

ことば例 ((1): sports / vegetables / school subjects + hard / boring (2): my brother / my first teacher / that summer (3): want to try / believe it)。気づき: (1)は「全部ではない」と言っているだけで、「ぜんぶ嫌い」ではありません。(2)は前に出した語がいちばん言いたいこと。(3)の do は「そうは思えないかもしれないけれど」という含みを足します。

(1) Not all _____ are _____. 全部が～というわけではない

(2) It was _____ that _____. いちばん言いたいことを前に

(3) I do _____. 本当にそうなのだ、と言いたいとき

ペアで話す ペアで話す—犯人あてクイズ

出題の型: It was _____ that _____. の _____ の片方を隠して3ヒントまで。当てる人は Was it _____ that _____? の形で答える。ヒントは全部英語で一言えないものは日本語で言ってから、いっしょに英語をさがすこと。

(1) It was someone in my family that broke my cup. Not all of them were at home.

出題する人—ヒントを1文ずつ

(2) Was it your little brother that broke it?

当てる人—It was ... that の形で聞く

あいづち・返しの型: That's right! Try again. One more hint, please. I have no idea.

強調して伝える (基礎) | 自分の番

年組番号名前

書く

3文つなげて「わたしのいちばん」

思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけで短い文章になる。最後に、ペアの相手について聞いたことを1文で: It was _____ that changed my partner's mind.

評価

先生はここを見ます (加点式)

部分否定・強調構文・do の強調が1つずつ入っている	+5点
____に自分のことばが入っている	+3点
ペアの相手についての1文がある	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り

ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ